

第2回  
周南市まちづくり総合計画審議会  
議事要旨

日時：令和元年7月22日（月） 18時30分～

場所：周南市シビック交流センター2階 交流室1

## 【議事次第】

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 まちづくり総合計画 後期基本計画（素案）の諮問
- 4 議事
  - (1) 後期基本計画（素案）の審議について
  - (2) 各部会での審議
    - ・ 部会長の選出
    - ・ 今後の日程について
- 5 その他
- 6 閉会

### ○配付資料

- 資料1 第2次周南市まちづくり総合計画後期基本計画（素案）
- 資料2 後期基本計画（素案）の概要
- 資料3 市民アンケート調査等概要
- 資料4 今後のスケジュールと部会について
- 資料5 周南市まちづくり総合計画審議会部会構成

### ○参考資料

- 周南市まちづくり総合計画審議会委員名簿
- 第2回周南市まちづくり総合計画審議会座席表
- まちづくり総合計画審議会への諮問書（写）
- 周南市市民アンケート調査報告書

## 第2回 周南市まちづくり総合計画審議会 議事要旨

日時 令和元年7月22日(月) 18時30分～  
場所 周南市シビック交流センター2階 交流室1  
出席者 委員26名(欠席6名)  
河田 正樹 会長、目山 直樹 副会長  
原田 浩樹、田中 義啓、竹村 正美、小林 展衣、原田 邦昭、藤井 憲治、  
丸山 康子、戸倉 ひとみ、梶山 正一、渋谷 栄子、藤井 秀尚、  
山田 みゆき、片山 恵子、山田 智、松田 富雄、高橋 俊彦、附田 尚美、  
西川 満希子、原田 恵美子、横山 和人、和田 真純、井出野 尚、  
有馬 裕就、長合 香奈  
周南市長 藤井 律子  
事務局  
政策推進部長 中村 和久、政策推進部次長 川口 洋司、  
企画課長 中村 貴子、企画担当係長 中村 充孝  
企画担当 中村 亮太  
傍聴者 3名

### 会 議 議 事 録

#### 1 開 会

司会：定刻となりましたので、ただ今から第2回周南市まちづくり総合計画審議会を開催いたします。本日はお忙しい中ご出席いただき誠にありがとうございます。

周南市まちづくり総合計画後期基本計画(素案)の諮問に先立ちまして、周南市長藤井律子のご挨拶を申し上げます。

#### 2 市長あいさつ

市長：本日は、大変お忙しい中、お集まりをいただきまして、ありがとうございます。また、皆様には、平素から本市のまちづくりにおいて様々な形でご支援ご協力を賜り、この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。さて、本日は第2回目の審議会でございますが、本市の最上位計画であり、まちづくりの羅針盤となる、周南市まちづくり総合計画後期基本計画(素案)を皆様に諮問させていただきます。私は、市民の皆様の負託を受けてこの5月に周南市長に就任し、本市の今を引き受け未来につなぐと言う大切な役割を担うこととなりました。このまちの持続可能な発展に向けて、今の市民のためはもちろん、将来の市民のために必要な施策をこの計画にしっかりと反映し、取り組んでまいり所存でございます。それぞれの分野で活躍されている委員の皆様からも幅広くご意見ご提言をいただき、この後期基本計画をより良い計画として作り上げていきたいと考えておりますので、皆様のお力添えを賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。

### 3 まちづくり総合計画後期基本計画（素案）の諮問

司会：続きまして、市長から、当審議会に対し周南市まちづくり総合計画後期基本計画（素案）を諮問させていただきます。諮問書の受け取りを河田会長お願いいたします。

（市長から会長へ諮問書を手渡す）

（写真撮影）

司会：恐れ入りますが、市長は次の公務がございますので退席をさせていただきます。

市長：皆様どうぞよろしくお願いいたします。

（市長退席）

### 4 議事 （1）後期基本計画（素案）の審議について

司会：議事に入ります前に、参考資料 周南市まちづくり総合計画審議会委員名簿をご覧ください。上から 5 番目になりますが、周南市快適環境づくり推進協議会になりますが、ご事情により竹村委員を新たに任命いたしましたのでご報告いたします。竹村委員、一言ご挨拶をお願いいたします。

（竹村委員あいさつ）

司会：ありがとうございました。また、事務局から改めて自己紹介をいたします。

（事務局が自己紹介）

司会：これから議事に入ります。これ以降の進行につきましては、審議会規則第 5 条の規定により、会長が議長を務めることとなっておりますので、河田会長よろしくをお願いいたします。

会長：それでは、議事に入ります。規定により議事進行を進めさせていただきます。委員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。まず議題 1 の後期基本計画（素案）について事務局から説明をお願いいたします。

（事務局が資料 2～4 に沿って説明）

会長：全体会での審議事項は、基本計画（素案）のうち、第 1 章基本計画から第 5 章後期基本計画体系について審議いただくということ、個別の施策である第 6 章分野別計画については部会での審議が中心ということでご理解をお願いいたします。本日、後期基本計画（素案）の説明を受けて、この先 5 年間の周南市のまちづくりの方向性のたたき台が示されたわけですが、この場の説明や議論だけで理解し、意見を述べるのはなかなか難しいと思います。つきましては、お帰りになられて本日の素案をじっくりとご覧いただき、何か気づき等がございましたら、お配りしております提出様式にご記載の上、事務局に提出していただければと思います。現時点で事務局からの説明につきまして、ご質問やご意見ご提案がありましたらお願いいたします。

委員：資料 1 のまちづくり総合計画（素案）の中の 11 ページ目、市民アンケートの概略の説明がありましたが、私はもう危機的な状態に入っているまちじゃないかと思います。住みたい、住み良いという評価について、今から 15 年前に 8 割の人が住み良いと言っ

ていたところ、今はそれが 10%以上減っています。それから、住みよいの度合いで行くと、「どちらかといえば住みよい」まで入れて、5年前の 40%位が 30%まで落ちていきます。「住み続けたい」という市民の居留意向は、5年前の 56%位が 42%まで減っています。こうした 10%以上の落差があるような状況にある中で、基本構想そのものをいじるわけじゃないんですけれども、市民の満足度等が非常に低くなっていることに対する策というのが、まだ全部読んでないのですけれども、あまり反映されていないというか、分析がなされていないので、そのところについては事務局としてどのように受け止めているのでしょうか。ただ単に淡々と事実を書いて説明するという問題ではなくて、これが危機的状況なんだけれどもこの理由はどんなところにあるのかという分析があって、不安に思っていたり、満足度が低くなっている原因を解消するために後期基本計画の中で重点的に展開していくというような取組ができなかったのかなと思います。あるのであれば、そのところもうちょっと掘り下げて説明していただいたほうがわかりやすいんじゃないかなと思います。基本構想と前期基本計画の策定に関わった私の立場で言えば、野犬対策の話なんてほとんど出てきてないんですよ。今、野犬対策の強化と言いながら、目標数値に「野犬対策をこれだけやって0にします。」というような表現は一切ないわけですよ。だから、逆に言うと、一つひとつの施策に踏み込んでいったときに、数字として見せて、これをここまでやるというのが必要だと思います。中心市街地活性化の中に出てくる数字も、現状の通行量で 10,790 人を 11,000 人にするというふうにしていますが、実をいうと、前回の段階で中心市街地活性化基本計画の目標値はもう超えてしまっています。次の目標値を立てるというときに、市街地再開発事業で新たな機能が導入されるのに、たった 210 人しか増えないような設定で、果たして今の満足度を上げていく、賑わいを創出していくのにそぐうのかなという感触もっています。ざっとしか見ていないので関心のあるところだけの話ですけれども、事務局として、クライシスと僕はいつでも良いと思うけれども、今のような満足度が下がっている状態で、それに対してどのような分析をしているか、満足度が下がっている理由がわからないとしても、満足度をこれから上げていくために、基本計画の中に何を注力していくという視点をお持ちになっているのか、そのあたりを補足して説明していただけないかと思います。

事務局：アンケートについて、正直なところ、私どもも、満足度が下がっておりますし、「どちらともいえない」というところが大きく増加しているということで、正直驚きました。しかしながら、項目で見ると、上下水道、道路、交通等に関することについては、「どちらともいえない」が比較的少ないというふうに見えますので、自分に直接関わっているかどうかというところでアンケートを答えていただいている、正直な民意が現れているというふうにも捉えております。ご指摘がありました詳しい分析については、ちょっと今まだお示しできるものがございませんので、これからもう少し詳細な分析をして、各部会等で示していかなければいけないというふうに思っております。そう

した中で、先ほどのアンケートの概要に、重要度と満足度の相関図があったと思います。その左上にあります重要度が高いけれども満足度が低いというふうに表れている部分、そこをやっぱり重点的に取り組まなければいけない。項目で言うと、「中心市街地の活性化」「空き家・空き地の利活用」「商業の振興」などを重点的に取り組む必要があるというふうに考えております。その中で前期基本計画との違いなんですけれども、例えばプロジェクトですが、前は7つのプロジェクトだったんですけれども今回は10個を掲げておまして、少し具体的といいますかより明確化して取り組む必要があるというところが、プロジェクトが増えているというところに現れているというふうに考えております。例えば、野犬対策でございますが、プロジェクトにも掲げております。ただ目標値につきましては、なかなか市だけで取り組めることでもないですし、今のところ具体的な数値目標はありませんが、言われたようにここ5年の間に非常に大きな問題となっておりますので、プロジェクトにも掲げて重点的に取り組む項目には挙げております。市街地再開発の件ですが、これから着手しますと一応5年間のうちには完成予定になっております。確かに言われたように、目標値にちょっと反映が足りないというご意見をいただきましたので、その辺はこれから担当部局とも相談いたしまして、もう少し再開発ができた効果というものが数値目標に現れるのではないかとすることもよく分析して、目標値の見直しといったところもこれから組み立てていかなければならないと考えております。

会長：事実確認したいところがあるんですけども、今回「どちらともいえない」の増え方は異常だと思います。今までが少なすぎたということなんですけど、アンケートは、今までは「どちらともいえない」が回答欄の1番右にあったんじゃないですか。

事務局：はい。

会長：おそらくそこですね。真ん中に来るので増えた結果、「住みよい」「どちらかといえば住みよい」の方が、だいぶ「どちらともいえない」に食われているということが考えられます。これだけを見て満足度が下がったというのはちょっと言い過ぎなところがあるのではないかと思います。その事実の確認をしませんと、誤った方に進んでいってしまいますので、もうちょっとその辺はしっかりと分析をした方が良いと思います。こういうアンケート調査をすると、今回のアンケートの作り方のように5段階になると、普通は真ん中というのはやはり多くなるんですね。でも、今まではたぶん、それが1番端にしていたので、それを選ばないようにすると、どちらかに振れると思うんです。

委員：私の個人的な見解ですけど、満足度がこんな下がってるのを不思議に思ったんです。私の満足度は、前回の5年前と10年前とほぼ変わらず、「住みよい」になる。1番良いほうに自分自身感じているからです。それがこの5年や10年で大きく下がったのかなあと思います。たぶん、今、会長がおっしゃったように、アンケートの設計の仕方も影響したのかもしれないなと思います。ただし、下がり方が尋常じゃないので、やっぱり深めてほしいです。それから、分析するのであれば、2つの視点を入れて欲しいなと

思います。一つは、世代間で差があるのか。60歳以上の方々と若い世代と差が出ているのか。若い世代に「どちらともいえない」が多いが出てきているんだったら、ちょっと由々しいなと思います。あともう一つは地域的な差があるのか。何々地区か旧市町かどうかは別ですけども、山間部の人と街なかの人で歴然と差が出ているのか。要は中心市街地に対して投資がたくさん行われているのに、縁辺部というか郊外の方はそういうものを享受してないというふうに感じられていらっしゃるのか。そういうものが歴然と出ているのであれば、「なるほど。」ということもありますけど、どうなんだろうと思います。今、会長がおっしゃったみたいに、軽々に判断がつかないですよ。ただ、ちょっと数字を見ると由々しいなという気がいたします。それからお答えになられていることで確認させていただきたいのは、普通、諮問というふうになると、素案について審議会が各部会におろして、この内容を審議して行って、答申内容で返していくという形になるわけですけども、まだその辺りの組み立ての余地だとか、あと数字の付け方に改善する余地があるというふうに考えて良いのか、それともこれはあくまで素案で骨格なので、例えばまだ数字が足りてないところは意見の出方によっては、やりとりしながら作っていく可能性があるというふうに理解してよろしいかどうかだけ確認していいでしょうか。

事務局：まずアンケートのことですけども、「愛着を感じていますか」「住み良いと思いますか」「住み続けたいと思いますか」という項目の「どちらともいえない」という部分は、前回と同じで位置は変わっておりません。言葉はちょっと変わっております。前は「どちらでもない」というのが「どちらともいえない」というふうに変えております。各施策の満足度については、「満足」「まあ満足」から、順番があるので今回、真ん中に「どちらともいえない」を入れて、「やや不満」「不満」というふうにしたので、私たちもそのアンケート結果を見た時に、真ん中に来ているというのが、もしかしたら選びやすかったために付けやすかったという影響もあるのではないかなというのは考えたところではあります。想定でしかないですけども、前回のアンケートから順番を変えたというのも事実でございます。それから、今、言われた世代間の分析や地域間の分析というのは、これからやっというふうには考えております。あと、これから意見を取り入れることができるかどうかということですが、各部会でいただいた意見について反映していきたいというふうに思っておりますので、ぜひお気づきになったところはご意見いただければと思います。

委員：諮問された内容についてまだよく読んでないのでわからないんですけども、この諮問された内容を検討するにあたって、やはり前期基本計画、これが今年までですか、前期基本計画の振り返りをきちんとやって、その中の課題というものについてはよく考えないといけないと思います。その関係で、この市民アンケート調査結果が出てきているのかなと思うんですけども、それにしてもまだまだ振り返りが不十分で、このデータだけをぱっと見せられても、なかなか読み込むのに時間がかかるような気がしていま

す。検証の部分に表があって、実際に「実施中」「完了」が 90%超えている。前期計画は 90%以上実施されて完了されているのに、この市民アンケートの結果が出てきているのかなと思います。ずいぶんズレがあるような気がしているので、その辺をちゃんと検証というか振り返りをして、その結果を受けてこの後期基本計画の諮問された内容について、これで良いかどうか考えていかないといけないんじゃないかなというふうに思うので、先程これからさらに分析解析していかれるということなんですけども、その辺りの解析された結果は、いつ頃我々委員の方に開示されていくのでしょうか。

事務局：アンケートの分析について部会に間に合うようにしたいと思いますので、ぜひ今日お渡ししたご意見のところに、8月9日までというのがありましたが、そちらにもご記入いただいて、部会に間に合うようにはしたいというふうに考えております。それから、アンケートももちろん市民の意識分析というところで基礎資料にしておりますけれども、各分野別計画には各所管がそれぞれの推進施策に対して、主に前期5年間ですが、それ以前からの取り組みを書いているところもありますけれども、「これまでどういうことを実施してきました」という「これまでの主な取組」、その次の「現状と課題」というところで取組をして浮き上がった課題であったり、現在の社会情勢なんかで浮き上がった課題であったりというところを「現状と課題」に記載しております。例えば、個別計画は 27 ページから始まりますけれども、28 ページ、「1-1 教育の充実」というところをご覧くださいと、まずこれから取り組む基本方向がありまして、2 番目に「これまでの主な取組・成果」というところがございます。教育で言いますと、ICT 環境を整備しましたとか学校施設の耐震化などを進めましたということが書いてあります。その下の「現状と課題」というところに、そのこれまでの取組や現在の経済情勢、社会情勢で浮き上がった課題を書いております。そうした課題や現状に対してどういった取り組みをしていくかというのを 4 番目の「推進施策の展開」というところで表しているという構成になっております。先程の前期基本計画の検証というのは、着手したとか実施中とか、そういった数字でしか分かりませんが、各取組について所管がどのように取り組んできて、どのような課題があるかというのは、それぞれの分野別計画にも書いておりますのでご覧いただきたいというふうに考えております。

会長：分析を間に合わすというよりは、おそらくどのような分析がこの先部会の審議の時に必要かどうかというのを、委員の皆様、先程の副会長でしたら、満足度の世代間での違いと地域間での違いというのがまず一つありましたけれども、そういうことを含めて提出様式に書く、こういうデータが欲しいといったものもここに書くと言う形でよろしいでしょうか。

事務局：はい。各部会にはそれぞれの担当課にも出席をお願いし、現場の各職員に説明をしてもらいたいと思っております。例えば「こういった資料はないでしょうか。」とかそういったことも書いていただきますと、用意できる資料は所管の方で用意して部会の方で提示したいと思っておりますので、そういった必要資料や気づきも提出していただければ準



備したいと思っています。

会長：部会の中で必要に応じてどんどん言っていただいて、必要に応じてそのような資料を出してもらうという形で進めていきたいと思います。よろしいでしょうか。他にご質問ご意見はございますでしょうか。

委員：カタカナ語が多いんですが、多くの方が分かっていることであればいいんですけども、カタカナ語で分かった気になるというようなものではやっぱりまずいんじゃないかなと思います。一例を挙げれば、シビックプライドなんていうのは、どうして日本語ではできないんですか。またシティプロモーションというの、今、また別の内容、意味合いで議会でも問題になってますけれど、これも、こうしてカタカナにすることによって本質がずれると言う気がしております。また、今、後期基本計画の素案をざっと見ると、やたらとこれ以上意味がわからない言葉がたくさんありますので、これは少し反省して直してもらいたいと思います。あと定義が曖昧で、誤用、間違った使い方をしている言葉の例として、持続可能な発展ということがあります。これも「持続可能な林業」というような表現がどこかに出ていたと思います。これも流行のように使われますけれども、意味合いが非常に違うんです。これは国連のブルントラント委員会で厳密に定義された言葉でありまして、ただ続けばいいというようなものではないわけです。ですから、ここで情緒的にそういう言葉を使うのはやめてもらいたいと思います。それから、最後にもう一点、私は第1次まちづくり総合計画の審議会委員もやりましたけれども、第2次まちづくり総合計画の前期基本計画のときに、環境審議会の方だったか、大事なことが抜けているということを指摘しました。厳密に言えば、第5期地域審議会でも言いましたけど、具体的には国立公園の整備利活用ということが全然ないということです。市の基本計画の中に国立公園や太華山ということが1つも出てこないんですよ。鶴のことは出てますけどね。そういうのは非常にバランスを欠くことではないかということも指摘しましたら、ご指摘はごもっともということで、「次回のまちづくり総合計画の中にはちゃんと入れます。」ということで、第2次の前期基本計画、つまり13ページに書いてある検証と言うことになりますけど、この「8環境共生」かあるいは「7産業・観光」のどちらかに本来は入ったはずなんです。それが議会を通ったからごめんなさいということで、早い話がこの前期基本計画というのは欠陥計画なんです。総合計画の方では落ちたけど、環境基本計画の方にかろうじてそれが訂正されて残ったと言うようないきさつがありますので、今回の後期基本計画の素案にそのことが入っているかなと思ってざっと見たんですけど全然入ってない。だから、こういうつまみ食いの計画じゃなくて、組織的に抜けがないような計画にしてもらいたいと思います。

事務局：まず最初のカタカナ語について、確かに最近、国等においてもカタカナ語が多いというのは事実だと思っております。注釈が間に合わなくて申し訳ないですけど、今、カタカナ語も含めて下線を引いているところがあります。目次の下に「文中の下線は脚注の対象とする予定の単語です」というふうに書いておりますけれども、専門用語であっ

たりカタカナ語であったり分かりにくい言葉については脚注を入れたいと思っておりますが、こちらで見落としているものや私たちが専門的に使っているのが当たり前と思ってしまうものもあるかもしれませんので、そういったことも提出様式でご指摘いただけると大変ありがたいのでよろしくお願いします。太華山の取組のことをごさいますけれども、国立公園という国を中心とした取組ですので、市の計画には掲載していないというところが現状でございます。

委員：それはおかしい。国立公園が国の事業だから市ではやってないということは、これはもう全然なっとらん。国立公園の整備利活用の推進という項目が、ちゃんと正式な手続きで入ることになっているわけですよ。ご存じないですか。

事務局：入ることになっているというのは、この基本計画にということでしょうか。

委員：そうです。

事務局：わかりました。こちらは聞いておりませんので、所管とも調整するお時間をいただきたいと思います。

会長：他に何かございますか。よろしいでしょうか。

(特になし)

#### 4 議事 (2) 各部会での審議

会長：続いて議題2として部会での審議について事務局より説明をお願いいたします。

(事務局が資料4に沿って説明)

会長：ただいまの事務局からの説明で何かご質問がございましたらお願いいたします。

委員：今、資料の3ページ目を見ると、例えば第一部会だったら「教育・子育て」「生涯学習・人権」「地域づくり」だけですが、そのテーマからはみ出るといえるか、部会の中の関連項目として、他の分野に入るんだけど、こういう点からも意見があったというまとめ方をすることはいけないのでしょうか。今、他の部会の人々が別の部会に出るときには傍聴者として入ることは可能だと言われたんですけども、逆に部会の中での議論をこれだけに縛ってしまうと、関連項目という形で意見が出たときに反映しづらいなあという感じがあったので、そのあたりはいかがなんでしょうか。

会長：事務局お願いいたします

事務局：どの程度かによりますけれども、他分野の関連する項目についてもお話しいただくことは可能と思っております。また、部会に分かれてそれぞれ審議していただくんですけども、他の部会のことについて言いたいこともあるかと思っております。もちろん自分の推薦された団体以外のことでも、自分の活動の中でこういうことがあって、市にもっとこういうことに取り組んだ方が良いのではないかとということもあると思っておりますので、そういったものは、例えば先程の提出様式とか、全体会の中でお話しいただくことも可能です。全ての審議を部会に限るとということではないんですけども、部会の中ではやはり中心的にその分野を議論していただくのが役割分担になります。完全に制限はしません

けれども、皆さんにそれぞれ広く意見をいただく機会というのは提出様式や全体会の中で機会を作っていくたいというふうに考えております。

委員：わかりました。ありがとうございました。

事務局：部会でそれぞれどういう話があったかということも、皆さん関心があると思いますので、なるべく共有、リアルタイムに前回この部会でこういう話があったということ、要点だけになるとは思いますけども、共有していきたいと思っております。

会長：企画課の職員の皆さんは全部出るんですか。どういう形で参加されるんですか。

事務局：企画課の職員もそれぞれ1部会に必ず1人、日程が被らなければ2人とか出席して、なおかつそれぞれの施策を担当する課の職員にも順番に出てもらって、皆さんの審議が円滑に進むようにお手伝いをしていきたいと思っております。

会長：企画課の方が、部会ではこんなことがあったということの情報提供をしてくださるということですね。

事務局：はい、その通りです。

会長：そういうことでよろしいでしょうか。決して専門に分かれてそれ以外に口を出してはいけないということではございません。そこは調整しながら、ただ部会に分かれた方がより少ない人数で効率良く話し合えますし、特にまだ学生の若い二人にも入っていただいているのですから、そういう大人数の場で発言するというのも難しいところがございます。そういう意味で、部会に分けての審議、最終的には全員が責任を持った審議と言う形にできればということにさせていただきたいと思っております。よろしいでしょうか。他に質問ございますでしょうか。質問がないようでしたら各部会に分かれて審議を行いたいと思っておりますので、事務局に進行をお返しいたします。

事務局：それでは、これから部会に分かれます。本日は、部会長の選出と日程の調整をさせていただきたいと思っております。今日すぐにわからないという方もいらっしゃるかもしれませんが、ある程度の人数の調整となると、なかなか個別にやっていると時間が経ってしまいますので、本日は3回分の日程を決めさせていただきたいと思っております。日程を決めて、その日程に合わない方ももしかしたらいらっしゃるかもしれませんが、できればその日程に合わせて皆さんにお集まりいただきたいと思っております。場所はこちらで設定します。本日の目的としては部会長の選出と日程調整をさせていただきたいと思っております。各部会が終了しましたら、本日はもう解散ということになります。そして場所ですけれども、この会場で3つは難しいので、先程の表の資料5にあります第一部会と第二部会に丸がついている方はこの会場、第3部会は申し訳ないんですけれども通路に出た先の交流室4で話し合いをしていただきたいというふうに思っております。質問がある方いらっしゃいますか。第1部会と第2部会はここで会場設営をさせていただいて、第3部会はこの部屋を出て交流室4で部会を開催しますので、よろしく願います。それでは、部会に分かれて審議いたします。一旦全体会は終わりました、部会の終了後は解散ということになります。全体会は終了します。お疲れ様でした。

(第1～3部会に分かれて審議)

第1部会長 梅野委員  
第2部会長 目山委員  
第3部会長 井出野委員

} に決定

6 閉会

(部会終了後、各自解散)